

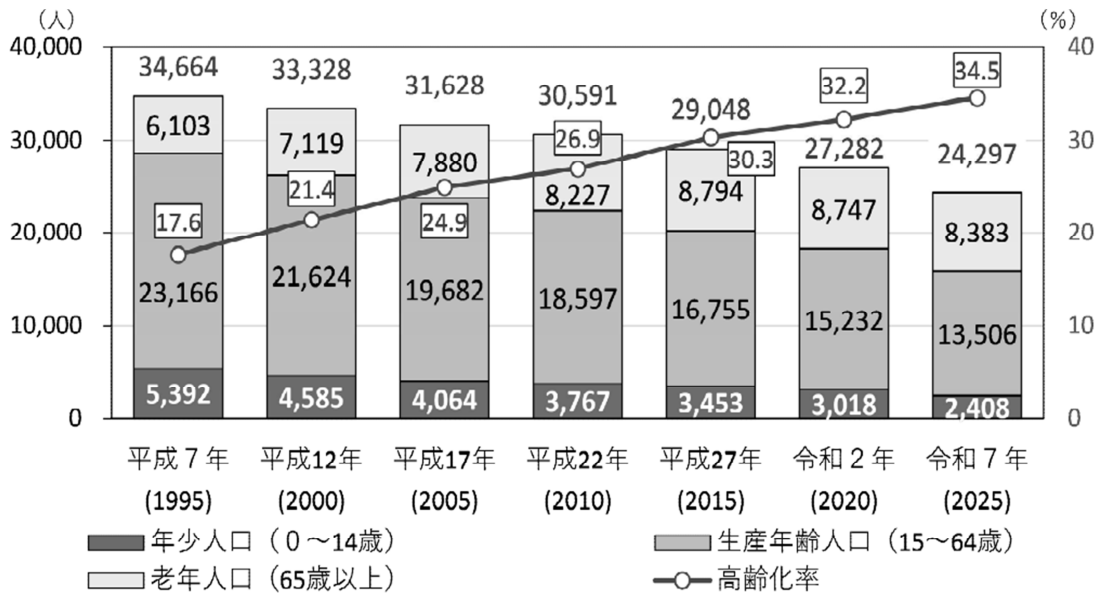
名寄市における部活動改革の取り組みについて

1 名寄市の現状

○本市の人口は令和7年時点で、24,297人であり、平成17年度からの20年間で7,331人が減少している。

○令和7年12月の将来人口推計報告書では、令和27年までの20年間で更に約8,000人の減少が見込まれており、継続的に減少が進むことが推定されている。

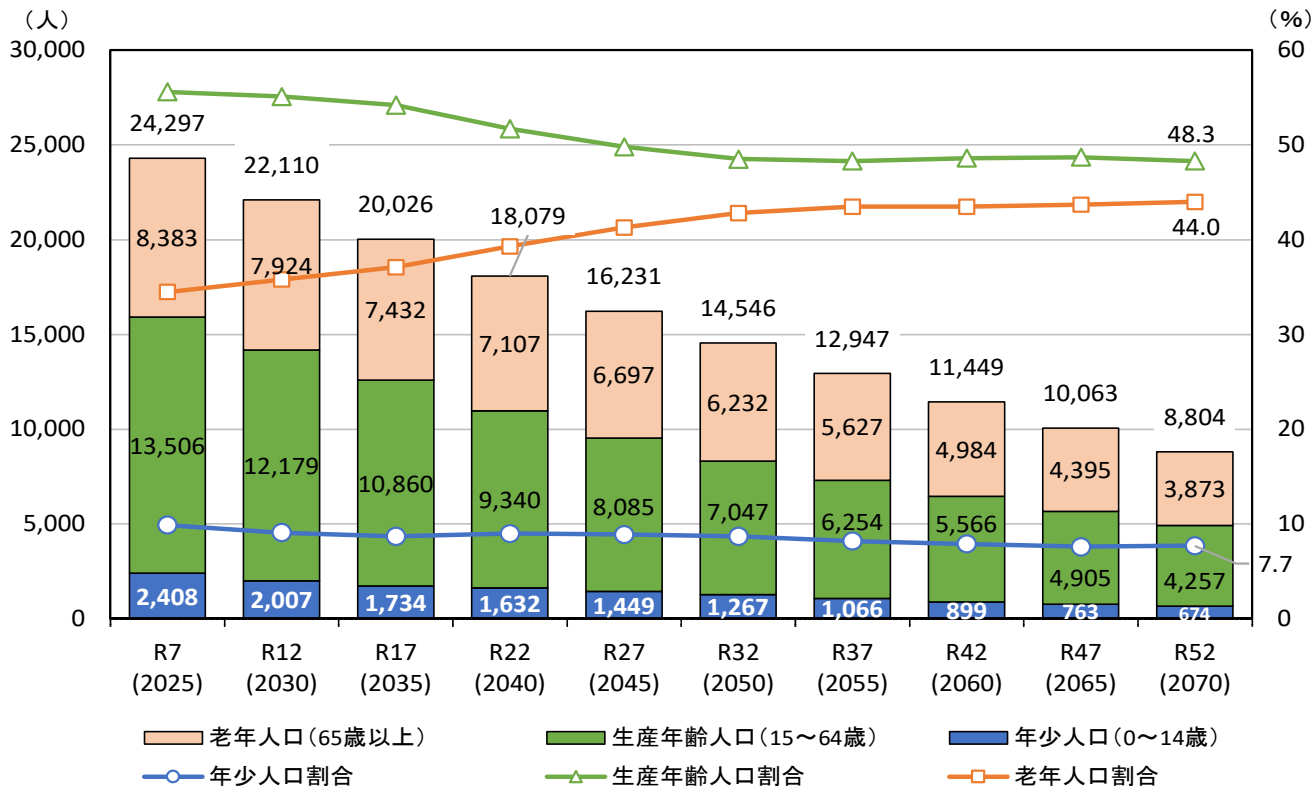
■総人口及び年齢3区分別人口の推移



※総人口は年齢不詳を含む。

出典：令和2年まで総務省「国勢調査」、令和7年は住民基本台帳(令和7年9月末現在)

■将来推計



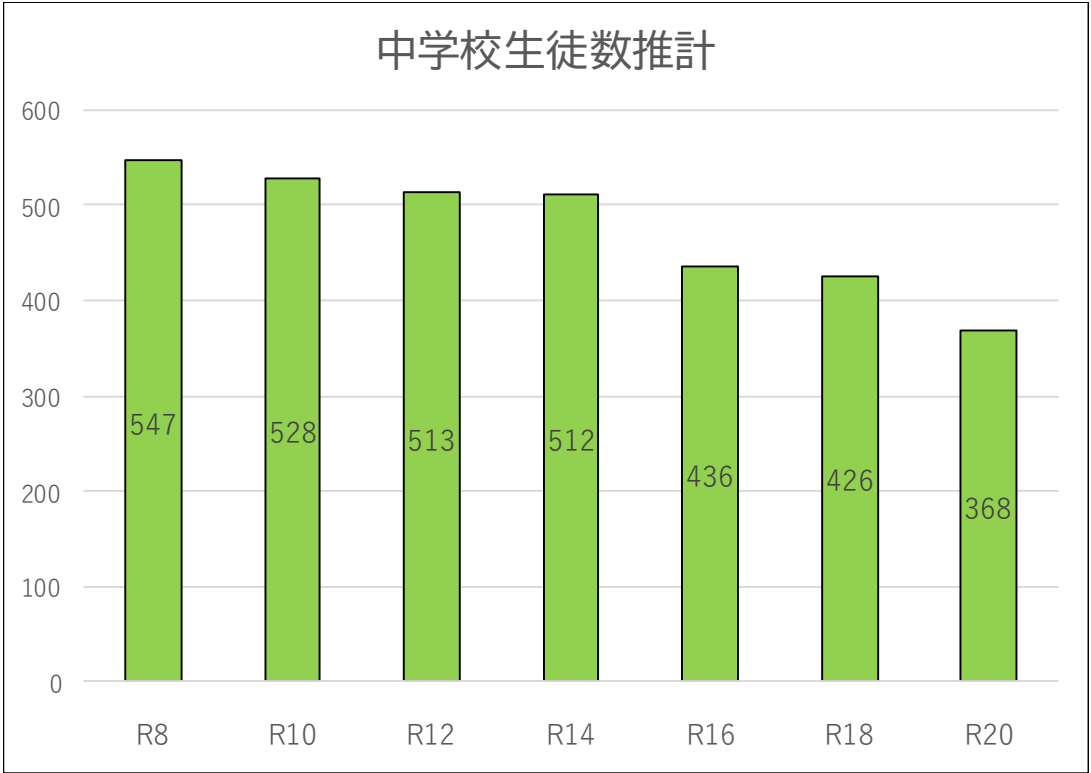
出典：令和7年は住民基本台帳(10月1日現在)、令和12以降は推計

○中学校の生徒数は、昭和 35 年～40 年頃をピークに 3 千人を超えてたが、その後減少を続け、令和 8 年においては 547 人となっている。

○中学校の生徒数は、令和 14 年度まで緩やかに減少するが、その後も徐々に減少を続け、令和 20 年度には 368 人となる見込みとなっている。

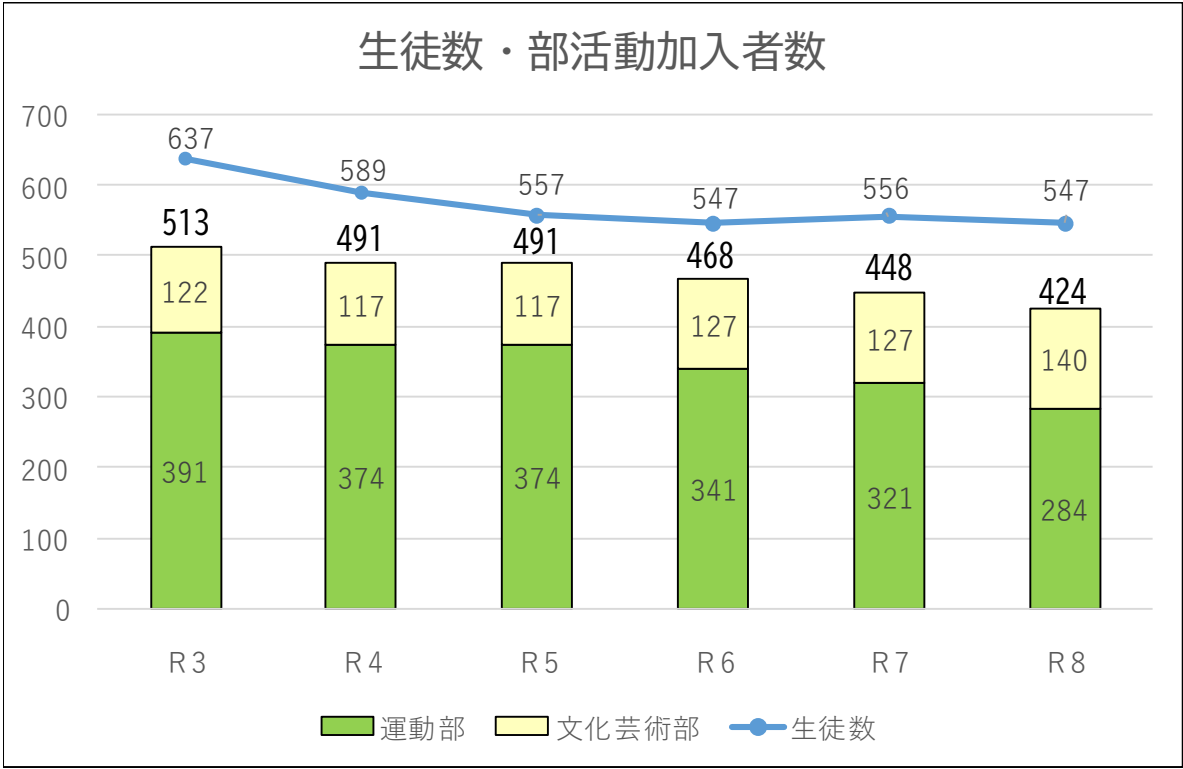
年	児童生徒数		
	児童数（小）	生徒数（中）	計
S30	6,518	3,035	9,553
S35	7,124	3,167	10,291
S40	5,084	3,387	8,471
S45	4,654	2,302	6,956
S50	4,170	2,144	6,314
S55	4,022	1,825	5,847
S60	3,851	1,830	5,681
H2	2,886	1,632	4,518
H7	2,228	1,201	3,429
H12	1,825	1,009	2,834
H17	1,614	817	2,431
H27	1,365	707	2,072
R8	1,017	547	1,564

学校基本調査による
便宜上、義務教育学校の前期を小学校、後期を中学校として集計する



2 名寄市の部活動の現状

- 本市の部活動加入者数は令和3年度から77%～88%で推移しており、生徒数の減少に伴い、部活動加入者数も減少傾向にある。
- 令和8年度には運動部8競技、文化芸術部4種目の部活動が設置され、424人が加入している。
部活動設置状況（参考資料1）



	生徒数	部活動加入者数	運動部	文化芸術部	加入率
R3	637	513	391	122	80.5%
R4	589	491	374	117	83.4%
R5	557	491	374	117	88.2%
R6	547	468	341	127	85.6%
R7	556	448	321	127	80.6%
R8	547	424	284	140	77.5%

3 これまでの取り組み

- 本市では、令和4年度からNAYOROスタイル部活動改革推進事業として、教員の負担軽減や生徒の活動機会の確保、保護者負担軽減に対する事業を実施してきた。
- スポーツによるまちづくりを推進する一般財団法人Nスポーツコミッションなよるにおいては、令和5年度から、競技団体において地域で小学校から高校までのジュニア育成環境の構築や、長期的な指導設計に則り、競技団体内で一環した指導を行う仕組みづくりのため、北海道ジュニアスポーツエコシステム形成事業を実施している。
- 令和6年度に名寄市部活動改革推進協議会を設置し、本市の部活動改革の推進に関する事項を協議し、令和7年夏から運動部における拠点校部活動の実施や令和8年夏から運動部における休日の地域展開について協議を行った。
- 令和7年度には、協議を効果的に進めるため、名寄市部活動改革推進協議会に運動部会及び文化芸術部会を設置し、各部会を中心に協議を行った。
- 運動部会においては、令和8年からの休日の地域展開に向けて、望ましい活動環境について検討するため、競技団体と顧問による競技ごとの分会を継続的に開催した。また、運動部会では分会の状況を踏まえ、地域展開の方向性や必要な支援について検討を行った。
- 文化芸術部会については、多様な文化芸術活動ができる環境の構築に向けて協議を行った。特に吹奏楽部に対する課題について引き続き検討が必要になっている。
- 令和8年2月に令和8年度の新入生に対する説明会において、名寄市における部活動地域展開について説明を行った。（別紙）

名寄市における部活動改革の取り組み

NAYOROスタイル部活動改革推進事業(R4～)

教員負担軽減・専門的な指導

- 部活動指導員配置促進
部活動の指導等を行う地域人材の活用
- ICT部活動支援(R6まで)
ICTを活用した遠隔指導

活動機会の確保・保護者負担軽減

- 合同部活動、拠点校部活動の運用
生徒数減少等に伴う複数校での活動
- 部活動学校間バス移動
放課後の学校間移動支援

保護者負担軽減

- 中学校生徒対外行事参加奨励金
中体連参加にかかる交通費補助

北海道ジュニアスポーツエコシステム形成事業(R6～)
(Nスポーツコミッションなよる)

ジュニア育成環境の整備

- 地域で小学校から高校までのジュニア育成環境の構築
- 競技団体の長期的な指導設計に則り、一貫した指導体制の構築

名寄市部活動改革推進協議会(R6～)

(校長会代表、保護者代表、関係団体、名寄市、名寄市教育委員会)

部活動改革の推進に関する事項を協議

- R6年度 運動部活動において令和7年夏から拠点校部活動を実施、令和8年夏から休日地域展開を実施することを協議
- R7年度 運動部会、文化芸術部会を設置し、それぞれ協議
- 運動部会 : 令和8年9月からの休日地域展開に向けて協議
競技ごとに競技団体と顧問による分会を設置し、活動環境の整備について継続的に協議
分会の課題等を踏まえ、必要な支援を検討
- 文化芸術部会 : 地域展開方向性について協議